

# アグリサポート研究会

## テーマ

アグリ関連分野での持続的成長モデルを追求する

### POINT 01

現地・現場で生きた事例から、  
成長のポイントを研究できる

### POINT 02

収益力の強化、  
事業のスケール化など、  
多様な成功要因を学ぶ

### POINT 03

新しいネットワークを構築し、  
自社の成長戦略につなげる

アグリサポート研究会 テーマ設定の背景

# Background

アグリ関連分野で成長している企業に、共通するポイントとは

昨今、アグリ関連業界では、高齢化が進む農業の現場、増え続ける耕作放棄地など、多くの課題を抱えています。ビジネスは課題を解決してこそ伸びていきます。このような課題をピンチと捉えるのではなく、ビジネス成長のチャンスと捉え、「解決には何が必要か？」を考えていく必要があります。

課題解決の糸口として、3つのポイントが重要になります。

- ①革新(イノベーション)
- ②社会価値(ソーシャル)
- ③持続的成長(サステナブル)

革新

農業界を取り巻く課題の解決、  
社会的な要請への対応

社会価値

新連携  
(海外進出、販路開拓、流通改革)  
新技術  
(機械化、農業技術、IT活用)

持続的  
成長

## アグリサポート研究会のテーマ

# Theme

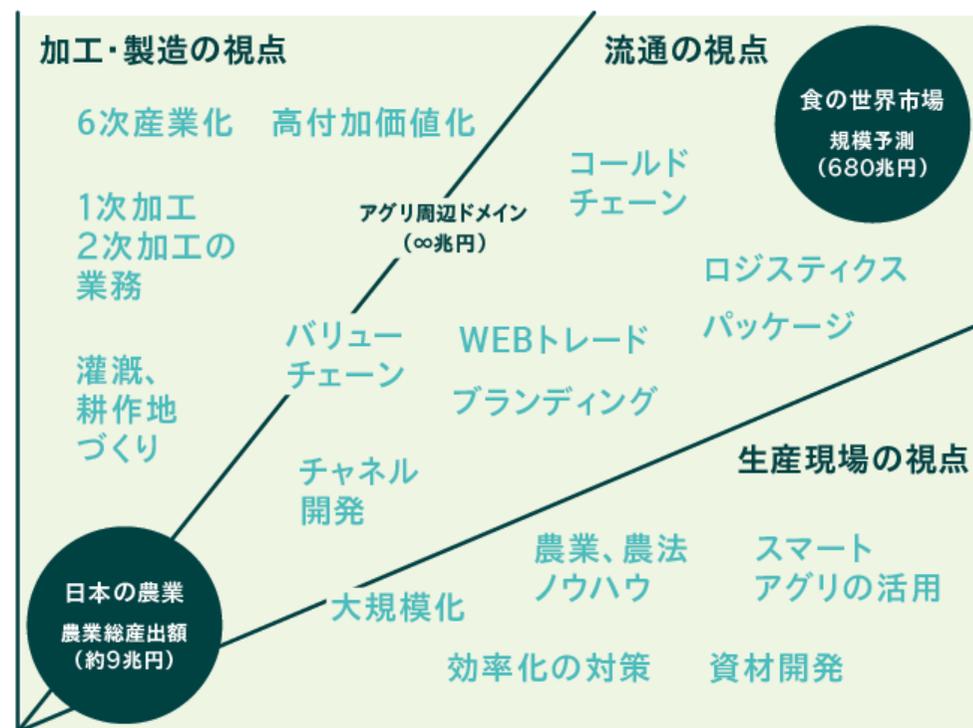
## アグリ関連分野での持続的成長モデルを追求する

アグリ関連ビジネスでは、持続的成長へ向けたイノベーションが進んでいます。

IoT、AIはもちろんのこと、商品・サービス価値を高める6次化や、異業種・地方自治体との連携なども進んでおり、本研究会でも参加メンバー同士で積極的な連携に取り組まれています。

成長している企業は、周辺分野(ドメイン)も含めたマーケットまで視点を広げて考えています。自社だけの1社完結型のビジネスは稀で、パートナーとの連携、アライアンスでの成長・発展モデルが必要不可欠。付加価値向上に向けた連携先をつくる事が重要です。

本研究会で全国の先端をゆく企業の現地を視察し、アグリ関連業界の成長へ向けた生きた事例を一緒に学んでいきましょう。



アグリサポート研究会 過去視察先

# Past Company Inspection

全国の先端をゆく企業の現地を視察！

## 01 小林クリエイト 静岡県

遊休工場を活用し、  
完全閉鎖型植物工場でレタスの安定生産を実現



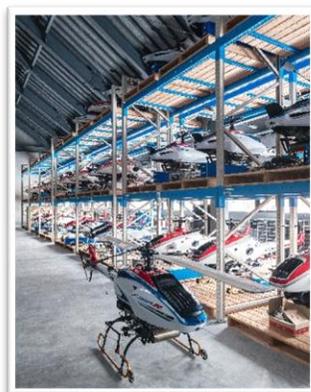
## 03 Kalm角山 北海道

自動搾乳ロボット&データ分析装置を導入し、  
徹底的な「データ化&システム化」を実現



## 02 サン格林太陽園 北海道

北海道初の産業用無人ヘリコプターを導入し、  
持続可能なスマート農業を推進



## 04 トゥリーアンドノーフ 鳥取県

トラクター部品の改良や菌根菌に注目した科学的視点と  
データを重視した手法で、生産性と効率性を追求



※ 過去の視察先の一部抜粋です  
※ 今期の視察・講演先ではありません

アグリサポート研究会 参加者の声

# User's VOICE



**建設業**  
(常務取締役)

常に新しい技術を導入することが時代に取り残されないヒントに。

最先端技術を使用しながらの取り組みが、その地域ならではの事業だなと感じました。常に新しい技術を導入していることが成長企業であり続けるヒントだと思いました。



**畜産業**  
(代表取締役社長)

固定概念のない、常識にとらわれない取り組みを。

異業種から参入した視察先を見て、農業に対する固定概念がないことで、常識にとらわれない取り組みをしていることが参考になりました。懇親会での交流も刺激になりました。



**農業資材業**  
(常務取締役)

大きい夢を持つことと、他との連携の大切さを学びました。

視察先の経営者の話を聞き、大きい夢を持つこと・経常利益10%以上を目指すことについての話がいい刺激になりました。また、各機関と連携して事業を構築していることも勉強になりました。



**建設業**  
(代表取締役社長)

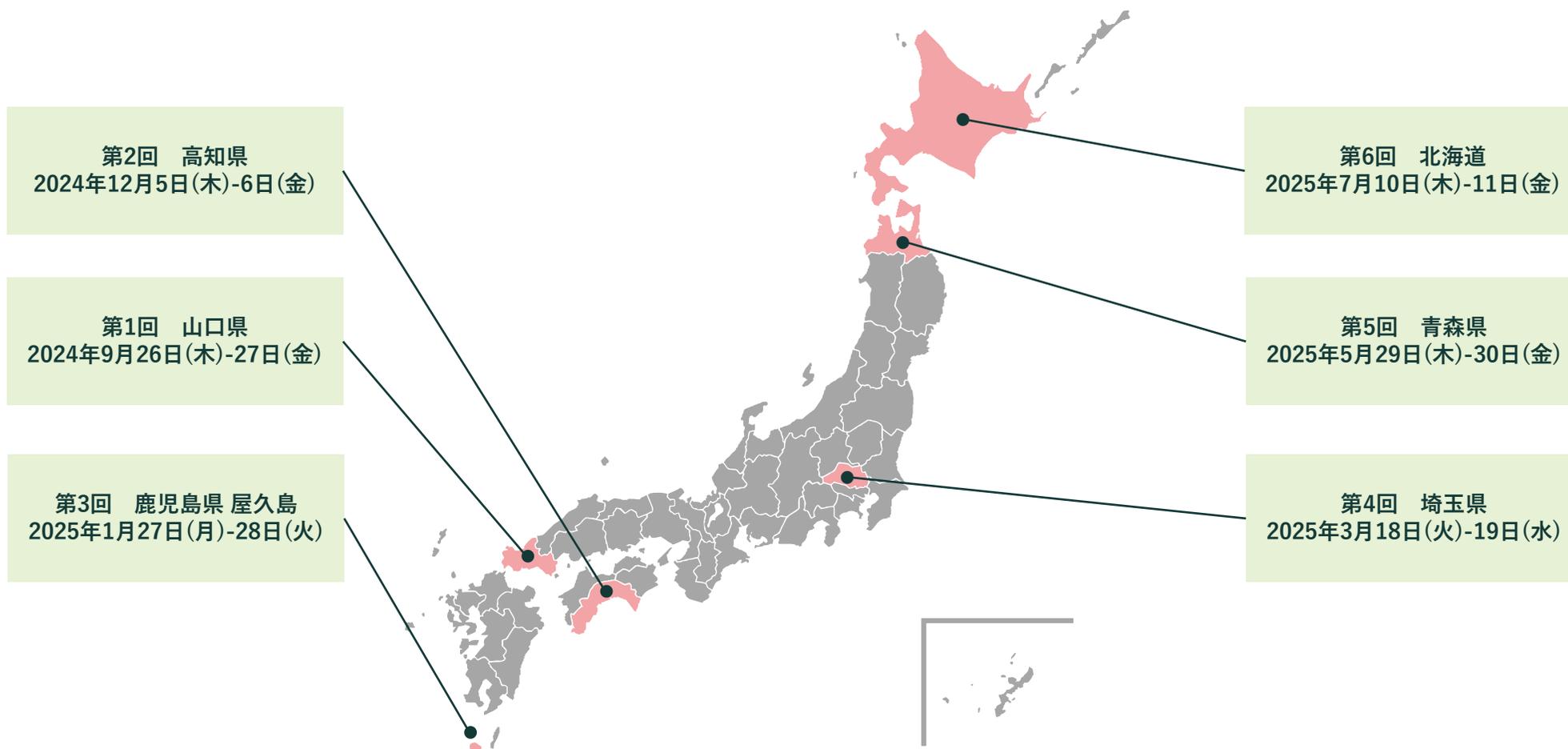
毎回とても勉強になる題材で感動しています。

ゲスト企業の講演で、農業の未来が明るくなっていくことに確信を持ってました。過去最高の研修ではなかったのではないかと振り返っております。いつも学びの多い研修を段取りいただき、感謝します。

アグリサポート研究会 開催日程と場所

# Event dates and places

全国の「現地・現場」を視察し、アグリ関連業界の持続的成長へ向けた先進事例を学ぶ



アグリサポート研究会 リーダー紹介

# Leader Introduction

アグリサポート研究会リーダー 阿部 和也

本研究会では、全国の「現地・現場」を視察し、アグリ関連業界の持続的成長へ向けた先進事例を学びます。アグリ関連ビジネスは、持続的成長へ向けたイノベーションが進んでいます。IoT、AIを活用したスマート農業をはじめ、商品・サービス価値を高める取組みや、異業種・地方自治体との連携なども進んでおり、本研究会でも参加メンバー同士で積極的な連携に取り組んでいます。全国の先端をゆく企業を視察し、皆さまの事業発展の一助となるよう、生きた事例を共に学んでまいりましょう。

## Profile

金融機関にて融資審査や経営改善支援等の担当を経て、当社に入社。「企業は人なり」を信条に、現場力を高める取組みと収益構造を重視したコンサルティングを展開。特に、成長戦略の構築から展開までの実践的なサポートが強み。企業体質を革新する独自のノウハウを活かし幅広く活躍している。

こんな方はぜひ  
ご参加ください

- ✓ アグリ関連分野でビジネス展開している企業
- ✓ 新規事業でアグリ関連分野を検討している企業
- ✓ アグリ関連分野での新しい潮流に関心がある企業



アグリサポート研究会 ゲストご紹介

# Guest Companies

第1回 山口 2024年9月26日(木)



## 秋穂放牧利用組合

組合長 宗綱 良治 氏

### 【事業概要】

#### 1. 耕作放棄地を減らす「山口型放牧」

牛の放牧によって耕作放棄地を有効活用。牛を水田に放牧することで、農業と畜産業の両方でコストを削減し、省力的かつ天候に左右されない作業体系を構築。その結果、生産性と付加価値が向上している。現在は県外からの視察の受け入れや、県外での講演などを行い、山口型放牧の推進・普及に取り組んでいる。

取り組みの一環として、農地管理ができない小規模農家から農作業を請け負い、新しく農業の雇用を生み出す仕組みづくりも実施。次世代に向け、地域の小学校の見学を受け入れるなど、山口型放牧の持続的成長を目指し、耕畜の双方の発展に貢献している。

牛の放牧

～山口型放牧の実践から～

第1回 山口 2024年9月27日(金)



農事組合法人 二島西

## 農事組合法人 二島西

副組合長 福江 豊 氏

### 【事業概要】

#### 1. 集落存続のためほ場整備・大規模農業法人化

農業従事者の高齢化や後継者不足による担い手不足が深刻な状況の中、将来に亘って農地を適切に継承し、地域農業を維持・発展させるため、3集落にまたがりほ場整備事業に取り組むとともに、経営体として法人を設立。組合員数は144人、法人が管理する耕地は約140haと、県下最大級の経営規模となっている。

#### 2. 持続的可能な農業を目指して

「5～10年先を見据えた労働力の安定的に確保」の課題と継続的安定的農業生産を維持していくためにスマート農業化にも取り組んでいる。新規就農者の確保に加え、少人数で生産活動ができる仕組みづくりとしてスマート農業技術を導入。

地域発展のため未来を見据えた  
大規模経営への取組と今後の展望

アグリサポート研究会 ゲストご紹介

# Guest Companies

第2回 高知 2024年12月5日(木)



## 馬路村農業協同組合

加工販売課 理事・販売課長 長野 桃太 氏

### 【事業概要】

#### 1. 地元では当たり前の「ゆず」を特産品として、売上30億円までに

林業で栄えていた村だったが、林業の衰退により人口減少が進んでいた馬路村。林業に代わる産業として「ゆず」の栽培を始め、ゆずの加工品開発・販売まで手掛ける。「東京ではできないこと」を目指し、「田舎」を感じられるパッケージやネーミングを取り入れ、県外へのイベント等への出展を重ねて知名度を上げ、その売り上げは年間30億円を超える。

#### 2. 手を止めない商品開発、品質へのこだわり

6次産業化の先駆けだった馬路村では、ドリンクやポン酢などの加工品がメインだったが、競争が増えたことをきっかけに化粧品や健康機能食品の開発にも着手。また、今年は県内初となる「オーガニックビレッジ」を宣言し、品質向上・産地維持等の取り組みを進める。

「村」全体をブランディング化

ゆずを使った村おこしの成功法とこれから

第2回 高知 2024年12月6日(金)



四万十みはら 菜園



## 有限会社四万十みはら菜園

代表取締役 東 宣雄 氏

### 【事業概要】

#### 1. スマートアグリを取り入れたオランダ式大規模農業

高軒高温室(5m)、環境制御装置を取り入れたトマト栽培で、カゴメ株式会社の契約農園として全国の中でもトップクラスの収穫高を誇る。農場では、冬季はおが粉を使って暖房を行うことで持続可能な農業を目指す。また、労務管理システムを取り入れることで入力作業の削減や、作業の効率化を進めることができ、業界では珍しく土日休暇を実現。さらには、周年生産技術を確立したことで、人材の周年雇用にも繋げている。

#### 2. 連携会社立ち上げによる自社商品の開発・販売

別会社「ベストグロウ」を立ち上げ、今まで処分していた規格外トマトの出荷及び自社商品の開発をスタート。トマトジュースやドレッシング、マヨネーズに加工して販売。

四国最大規模のグリーンハウスで実現する

高品質なトマト栽培と自社商品への展開

アグリサポート研究会 開催日程と申し込み要項

# Event dates and application requirements

## 開催日時

第1回	2024年	09月 26日 (木)	・	09月 27日 (金)
第2回	2024年	12月 05日 (木)	・	12月 06日 (金)
第3回	2025年	01月 27日 (月)	・	01月 28日 (火)
第4回	2025年	03月 18日 (火)	・	03月 19日 (水)
第5回	2025年	05月 29日 (木)	・	05月 30日 (金)
第6回	2025年	07月 10日 (木)	・	07月 11日 (金)

開催時間／1日目/午後開始・2日目/午前終了

※日程・開催時間等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

**FCC  
FORUM**  
ファーストコールカンパニーフォーラム

研究会参加者(全回参加の方のみ)には  
ファーストコールカンパニーフォーラムの  
視聴アカウントを進呈！ 詳細は、弊社ホームページをご参照ください。

※ 弊社ホームページの研究会参加要項に掲載されている研究会規約をお読みの上、お申込みください。研究会規約 <https://www.tanabeconsulting.co.jp/t/lab> ※研究会の会費には教材費、懇親会費を含みます。交通費・宿泊費は各自手配・ご負担いただけます。※お申込み受付後、ご請求書をお送りいたします。会費の前納をもってお申込みとさせていただきます。※状況により懇親会が実施できない場合がございます。予めご了承ください。※ご希望回のみ参加されるには、必ず他に1名さま以上の全回参加のお申込みが必要です。

【個人情報のお取り扱いについて】 タナベコンサルティングでは個人情報の保護に努めております。詳細は弊社ホームページ上に記載の「プライバシーポリシー」(<https://www.tanabeconsulting.co.jp/t/policy.html>)をご覧ください。なお、ご記入いただいたお客様の個人情報は、上記のお申込みに関する確認・連絡、および弊社発行のメールマガジンや商品・サービスのご案内などをお送りする際に利用させていただきます。

## 開催概要

受講対象 経営者、経営幹部など

定員 30名様

会費 お1人様(全6回通し)

495,000円(税込)

1名様追加料金(同一企業様) 1回/66,000円(税込) 全6回通し/429,000円(税込)

同一企業内であれば  
お申込みされた方以外の受講もOK！

【申込期限】 各研究会、開催日の1週間前までにお申込みください。

※事情により、お申込みをお受けできない場合がございます。予めご了承ください。

【受講取消】 1. お申込み期限日(第1回開催の1週間前、同一企業様からの追加お申込みの場合は

各回開催の1週間前)までの取消につきましては全額返金いたします。

2. お申込み期限日の翌日からの取消につきましては代理受講をお願いいたします。  
代理受講が不可能の場合は以下の通り取消料を申し受けます。ご了承ください。

① お申込み期限日の翌日から第1回開催日の前日

(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日の前日)：会費の40%

② 第1回開催日以降(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日当日以降)：会費の全額

お申込み ホームページからお申込みください。詳細もこちらからご覧いただけます。

タナベ アグリサポート研究会



E-mail | [soken-lab@tanabeconsulting.co.jp](mailto:soken-lab@tanabeconsulting.co.jp)

